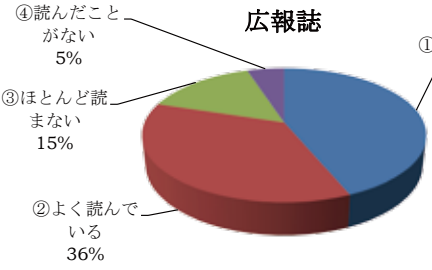
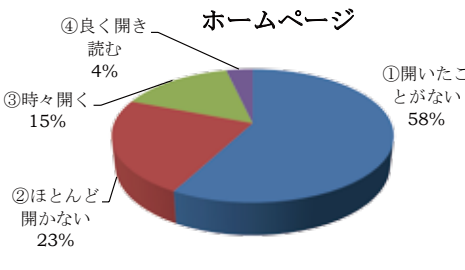


8、広報活動について (問8 (2) (3))

・広報誌「やかみ高城」



・ホームページ「やかみ高城 コミュニティサイト」



広報活動の中心となつてきている広報誌「やかみ高城」は「よく読んでいる、時々読む(計80%)」となつており、大半の方に読まれている傾向が読み取られます。

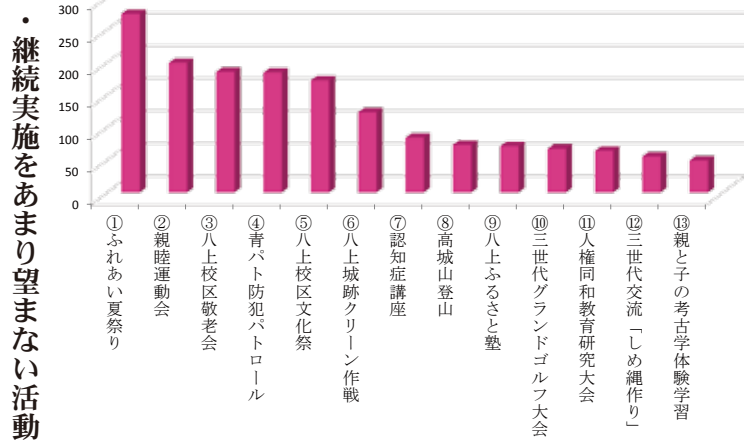
しかし、記載内容について「少し堅苦しい」等の意見があり、これらを十分考慮して「ほとんど読まない、読んだことがない(計20%)」の方を含めより多くの方に読まれるよう内容を充実させた「やかみ高城」を目指していくことが今後の課題であります。

また、ホームページについてはホームページを知らなかった方、又は高齢者でありパソコンに不慣れな方が多く、「よく開き読む、時々開く」等利用される方は19%程度と大変少なかつたと言えます。今後は、この度のアンケートで周知されたことから、若者等への活用

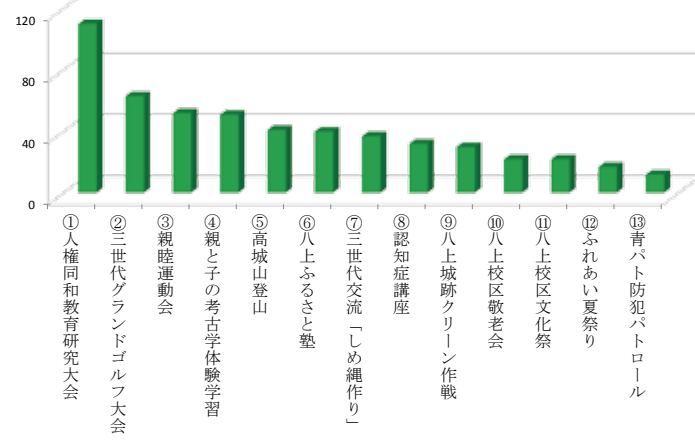
が増えるとともにまち協に対する広報活動の幅が広がることが期待されます。

9、現在実施している「八上校区まちづくり協議会」の活動について (問10)

・継続実施を望む活動



・継続実施をあまり望まない活動



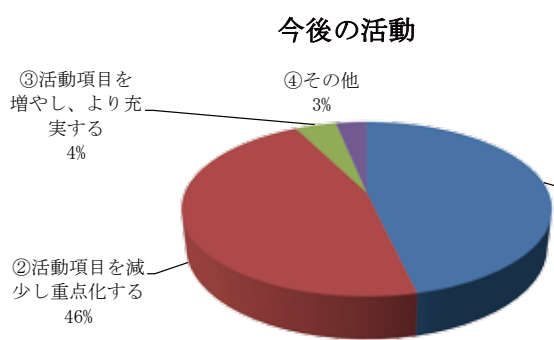
「継続実施を望む活動」における上位5活動は「ふれあい夏祭り」「親睦運動会」「八上校区敬老会」「青パト防犯パトロール」「八上校区文化祭」となっております。今後この5活動についてはより充実し

たものしていく必要があります。しかし他の活動についても内容等についてさらに検討するなど、今後より良いものとし皆様に親しまれるように心がける必要があります。

「継続実施をあまり望まない活動」

「継続実施をあまり望まない活動」については上記データのとおりで、参加希望が少ないからといって当該活動を中止することは簡単ですが、まち協活動は出来る限り多くの方の参加が重要であり、このため常に窓口を広げておくことも大切だと考えております。今後はよりPRすることともに住民の皆様意向にマッチしたものに多くの方が参加されるよう常に努力していく必要があります。

・今後の活動について

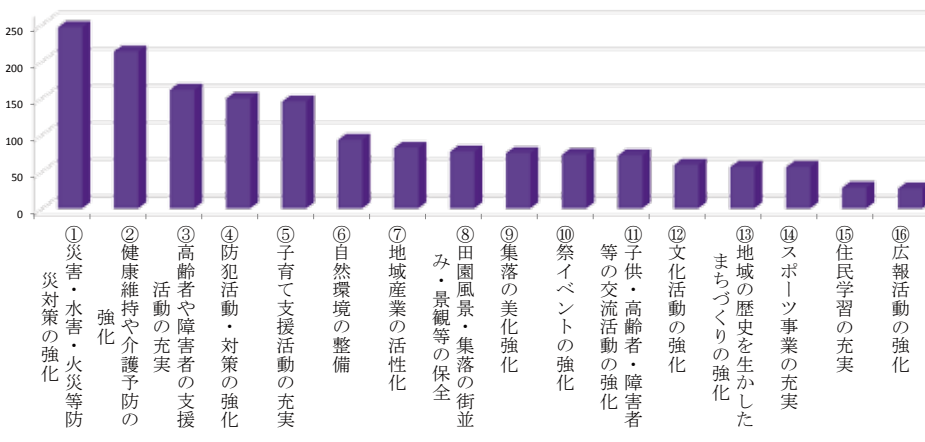


今後の活動については「現状でよい」が47%、「活動項目を減少し少し重点化する」が46%と拮抗した状況となっていることから、今後どのように活動を進めていくか難しい判断が求められています。

そこで、現在の活動に対して評価されている方が47%あるということとで少し安堵していますが、活動項目の重点化を求めている方が46%あることから、今後の活動については活動項目を増やすことよりも減少してでもより充実した内容について検討する必要があります。

10、今後の「八上校区まちづくり協議会」に求めるものは (問11)

・今後の八上校区まちづくり協議会の活動について何が重要ですか？



今後のまち協活動が求められているものの上位5活動は「災害・水害・火災等防災対策の強化」「健康維持や介護予防の強化」「高齢者や障害者の支援活動の充実」「防犯活動・対策の強化」「子育て支援活動の充実」となっています。求められている上位5活動と、現在の実施している活動を照らし合わせてみますと

1 「災害・水害・火災等 防災対策の強化」

特になし

2 「健康維持や介護予防の強化」

八上校区敬老会、認知症講座、親睦運動会、高城山登山

3 「高齢者や障害者の 支援活動の充実」

八上校区敬老会、認知症講座、三世代交流「しめ縄作り」、三世代交流ランドゴルフ

4 「防犯活動・対策の強化」

青パト防犯パトロール

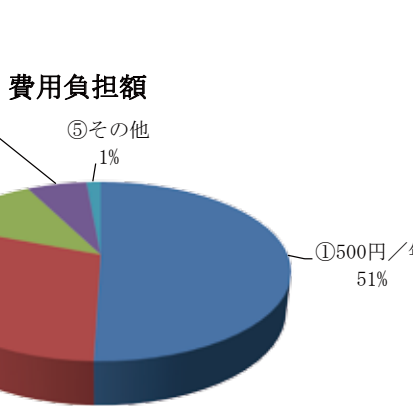
5 「子育て支援活動の充実」

親子の考古学体験学習、三世代交流「しめ縄作り」、三世代交流ランドゴルフ、ふれあい夏祭り、親睦運動会

となり、十分とは言えませんが、皆様に求められている活動の一端は担っているように感じられます。しかし、現在の活動の中心が「祭・イベント・文化・スポーツ等」であり、今後は住民から求められる活動「災害・水害・火災等防災対策の強化」等についても考えていく必要があります。

11、「八上校区まちづくり協議会」運営費用負担について (問12)

・いくらまでならご負担いただけますか？



このグラフによりみると、まち協

の活動にいくらかの負担はやむを得ないと考えておられる方が大半(88%)であり負担についてご理解が得られているとも思われますが、「それ以外のご意見」では、「まち協の活動は予算の範囲内で実施するのが相当で、予算が足りない場合は市等行政に負担を依頼すべきである」との意見や、「まち協の活動の中には利益が出て活動があることから、全体で予算を検討することにより住民に負担を要請することなく実施が可能ではないか」との意見もあります。

これらは少数意見ですが、まち協の今後の活動のあり方等について検討すべき課題を提起されたことから今後十分な議論が必要であります。

貴重なご意見をお寄せ戴きましたことに心からお礼申し上げます。今後はこの結果を参考にしてまち協事業を推進していく所存でありますので、よろしくお願いいたします。

以上

編集後記

● 本号は、特別号としてアンケート集約結果を掲載いたしました。

● 次号では、これまでの内容を少しづつ充実させ、さらに新しい企画等を検討しながら皆様のお役にたいたいと編集者一同考えております。

● 今度も八上校区をよりよくするために、皆様のご意見・ご提案をお待ちしております。

● 篠山に春を告げるABCマラソンが終わった3月6日、鳥取県鳥取市河原町から八上輝きの里づくり協議会の林会長他4名が八上まち協に来られました。

● 平成12年、八上という地名のルーツを探ろうと、柴田勲会長ほか17名が河原町を訪ねたことが縁となり、交流を行いました。

● 大國主命と八上姫の神話伝説の里との交流が芽生えそうです。

● メールアドレス (Yakami-machikyoo@gaia.eonet.ne.jp) ホームページ (URL) (http://www.yakami-takashiro.jp) 八上校区まちづくり協議会 千六六九・二四三七 篠山市糯ヶ坪甲八十三番地一